

「工業簿記」	教科	工業	単位数	2単位
	学科、学年、組	環境科学科、3学年、5組		
使用教科書	自作プリント			
副教材等	「スッキリわかる日商簿記初級」 (TAC 出版株式会社) 「スッキリわかる日商原価計算初級」 (TAC 出版株式会社)			

### 1 科目のねらい (目標)

学習の到達目標	<p>工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体系的な学習活動を行うことを通じて、工業における原価計算を行うのに必要となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)工業簿記について、工業分野で重要となる原価計算に関する基礎的な知識を体系的・系統的に理解し、関連する技術を身に付ける。</p> <p>(2)工業簿記に関する原価の情報から方法の妥当性と課題を見だし、工業における知見に基づいて課題に対応する力を養う。</p> <p>(3)工業簿記での適切な原価管理を行う力の向上を目指して自ら学び、原価計算での適切な情報の提供と効果的な活用に主体的に取り組む態度を養う。</p>
---------	---

### 2 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、以下の観点についてそれぞれA B Cで評価し、各観点の割合を基に評定（5段階）で総括します。

評価の規準 A：十分満足できる、B：おおむね満足できる、C：努力を要する

評価の観点及び内容		観点の割合	評価方法
知識・技能	工業簿記について、工業分野で重要となる原価計算に関する基礎的な知識を体系的・系統的に理解し、関連する技術を身に付ける。	35%	・定期考査 ・授業中の発表・ノート・課題等の内容
思考・判断・表現	工業簿記に関する原価の情報から方法の妥当性と課題を見だし、工業における知見に基づいて課題に対応する力を養う。	35%	・定期考査 ・授業中の発表・ノート・課題等の内容
主体的に学習に取り組む態度	工業簿記での適切な原価管理を行う力の向上を目指して自ら学び、原価計算での適切な情報の提供と効果的な活用に主体的に取り組む態度を養う。	30%	・ノート、課題等の提出状況 ・授業への取り組み状況

### 3 学習計画

学期	学習内容	学習のねらい
I	<ul style="list-style-type: none"> <li>原価計算の基礎 原価とは 変動費と固定費 売上と損益分岐点 予算実績差異分析</li> <li>原価計算の分類と集計 原価計算の基本的な流れ 材料費・労務費・経費の分類 材料費・労務費・経費の計算</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原価計算の目的を理解し、原価の細目について理解させる。</li> <li>変動費と固定費の特徴を理解し、損益分岐点の構成を理解し、売り上げとの関係を述べることができる。</li> <li>予算と実績の差を見比べることができ、原因を解析することができる。</li> <li>原価計算の基本的な流れを理解し、必要な項目について述べることができる。</li> <li>内容によって材料費の分類をすることができ、ケースに応じた計算をすることができる。</li> <li>労務費・経費の各分類と製造直接費と製造間接費の関連を理解し、各々まとめて、計算することができる。</li> </ul>

2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原価計算の計算と仕訳 製造段階での仕訳 完成品原価・売上原価の計算 損益計算書の作成</li> <li>・製造現場の棚卸と原価計算 棚卸とは 製造現場での棚卸 月末仕掛品原価の計算 月末製品原価の計算</li> <li>・簿記の基本 簿記の流れと要素について 取引と勘定 商業取引での仕訳について 仕訳と転記について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製造の段階ごとの仕訳を理解し、完成品原価の計算の要素を理解し、個別原価計算と総合原価計算の違いと使い分けについて理解させる。</li> <li>・販売費および一般管理費の概念を理解し、売上高、売上原価の計算と損益計算表について理解させる。</li> <li>・棚卸の概念を理解し、製造現場での棚卸と一般商店での棚卸との違いを理解させる。</li> <li>・月末製品原価の要素、仕掛原価について理解し、棚卸での単価の基本的な計算を行うことができる。</li> <li>・簿記の意味と流れを理解し、簿記上の取引と仕訳の関係を理解させる。</li> <li>・勘定科目の種類、貸方と借方の区別を理解し、取引の種類に応じた仕訳を行うことができる。</li> <li>・仕訳での伝票と帳簿への転記を理解し、関係を理解させる。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収入と支出の内容と仕訳 商品売買での仕訳 掛け取引について 手形について 現金と手形の取引での仕訳 貸付金・借入金の仕訳 資産などその他の取引での仕訳</li> <li>・帳簿への記入と伝票 伝票と仕訳日計表 三伝票制について 仕訳帳と総勘定元帳について 試算表の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商品売買における仕訳と三分法について理解させる。</li> <li>・掛けの概念と手形の種類とそれらに伴う仕訳について理解させる。</li> <li>・特定の方法にあった仕訳を行うことができるように、決済手段や繰り入れる内容に応じた考え方を理解させる。</li> <li>・伝票と仕訳日計表の関係および三伝票制を理解し、仕訳から起票にわたる関係性を理解させる。</li> <li>・総勘定元帳を理解し、仕訳帳から総勘定元帳への転記および試算表から合計残高試算表の作成をすることができるように概念を理解させる。</li> </ul>